

Chemigress to
100

Advancing to our 100th birthday in 2020

2019年3月期 第1四半期 連結決算概要

日本曹達株式会社
2018年8月3日

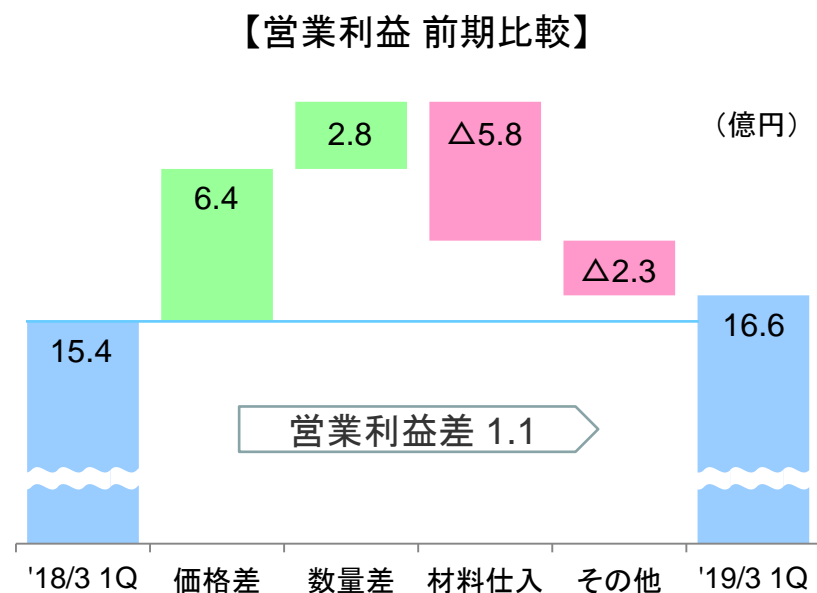
目 次

1. 2019年3月期 第1四半期業績	
・総括	… 3
・セグメント別業績	… 4
・化学品事業サブセグメント売上高	… 5
・農業化学品事業サブセグメント売上高	… 6
2. 2019年3月期 第2四半期業績予想修正	
・総括	… 8
・セグメント別業績	… 9~10
3. 2019年3月期 通期業績予想 (2018年5月11日発表)	
・総括	… 12
・セグメント別業績	… 13

2019年3月期 第1四半期業績(総括)

(億円)	2018/3 1Q	2019/3 1Q	増減額	増減率
売上高	296.4	323.3	26.9	9.1%
営業利益	15.4	16.6	1.1	7.3%
(持分法投資利益)	(5.7)	(4.8)	(Δ 0.9)	
経常利益	24.3	24.4	0.2	0.7%
親会社株主四半期純利益	14.2	18.7	4.5	31.7%
為替レート(円/ドル)	110.8	108.8	Δ 2.0	
為替レート(円/ユーロ)	120.0	130.3	10.3	

- ・農薬の輸出向け販売が堅調に推移
- ・化学品事業において価格改定を実施
- ・原燃料価格が上昇
- ・営業利益差 1.1 の内訳
 - 価格差 6.4 (うちレート差 0.5)
 - 数量差 2.8
 - 材料・仕入価格差 Δ 5.8 (うちレート差 0.3)
 - その他 Δ 2.3



2019年3月期 第1四半期業績(セグメント別業績)

(億円)	2018/3 1Q		2019/3 1Q		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品事業	97.0	12.4	103.0	5.6	6.0	△6.7
農業化学品事業	71.5	△2.8	78.9	5.2	7.5	8.1
商社事業	82.0	1.7	92.8	1.7	10.8	0.0
運輸倉庫事業	10.3	1.2	10.6	1.1	0.3	0.0
建設事業	18.5	3.3	19.1	△0.4	0.6	△3.7
その他	17.1	0.7	18.8	1.4	1.7	0.6
調整額	—	△1.0	—	1.9	—	2.9
連結合計	296.4	15.4	323.3	16.6	26.9	1.1

- ・化学品事業：カセイソーダ、医薬品添加剤「NISSO HPC」が堅調に推移
原燃料価格が上昇、一部製品の生産時期ズレにより生産量差損が発生
- ・農業化学品事業：殺虫剤「モスピラン」・殺菌剤「パンチョ」の輸出向けが増加

2019年3月期 第1四半期業績(化学品事業)

		(億円)	2018/3 1Q	2019/3 1Q	増減額	主な増減要因
当 社	工業薬品		33.3	40.8	7.4	カセイソーダ↑
	化成品		15.9	18.0	2.1	
	機能材料		16.3	14.0	△2.3	
	エコケア製品		18.5	17.8	△0.7	
	医薬品・工業用殺菌剤		20.0	22.1	2.1	NISSO HPC↑
	小計		104.0	112.6	8.7	
子会社・消去等			△7.0	△9.6	△2.7	
事業合計			97.0	103.0	6.0	

- ・工業薬品：カセイソーダの価格改定を実施
- ・医薬品：医薬品添加剤「NISSO HPC」の販売が増加

2019年3月期 第1四半期業績(農業化学品事業)

(億円)		2018/3 1Q	2019/3 1Q	増減額	主な増減要因
当社	殺菌剤	25.4	30.7	5.3	パンチヨ↑
	殺虫剤・殺ダニ剤	27.6	33.4	5.8	モスピラン↑
	除草剤	3.5	6.8	3.3	
	その他	1.2	1.3	0.1	
	小計	57.6	72.1	14.5	
子会社・消去等		13.9	6.8	△7.0	
事業合計		71.5	78.9	7.5	
海外売上比率		63.7%	70.2%		

- ・殺菌剤：「パンチヨ」の輸出向けが時期ズレで増加
- ・殺虫剤：「モスピラン」の輸出向け販売が増加

Chemigress to
100

Advancing to our 100th birthday in 2020

2019年3月期 第2四半期 連結業績予想修正

(2018年8月3日発表)

2019年3月期 第2四半期予想修正(総括)

(億円)	2019/3 2Q 前回予想	2019/3 2Q 修正予想	増減額	増減率	2018/3 2Q
売上高	630.0	670.0	40.0	6.3%	636.1
営業利益	12.0	21.0	9.0	75.0%	22.4
(持分法投資利益)	(11.0)	(7.0)	(△4.0)		(10.8)
経常利益	26.0	32.0	6.0	23.1%	38.9
親会社株主四半期純利益	17.0	24.0	7.0	41.2%	25.8
為替レート(円/ドル)	105.0	105.0	0.0		110.5
為替レート(円/ユーロ)	130.0	130.0	0.0		126.0

・建設事業が好調に推移

2019年3月期 第2四半期予想修正 (セグメント別業績)

(億円)	2019/3 2Q 前回予想		2019/3 2Q 修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品事業	202.0	10.8	208.0	10.8	6.0	0.0
農業化学品事業	151.0	△7.4	160.0	△5.0	9.0	2.4
商社事業	177.0	3.4	181.0	4.0	4.0	0.6
運輸倉庫事業	21.0	2.4	21.0	2.4	0.0	0.0
建設事業	42.0	0.4	62.0	3.6	20.0	3.2
その他	37.0	0.9	38.0	2.7	1.0	1.8
調整額	—	1.5	—	2.5	—	1.0
連結合計	630.0	12.0	670.0	21.0	40.0	9.0

・建設事業が好調に推移

2019年3月期 第2四半期予想修正 (セグメント別業績)

(億円)	2018/3 2Q		2019/3 2Q 修正予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品事業	194.2	15.8	208.0	10.8	13.8	△5.0
農業化学品事業	158.9	△8.9	160.0	△5.0	1.1	3.9
商社事業	166.1	3.0	181.0	4.0	14.9	1.0
運輸倉庫事業	20.7	2.7	21.0	2.4	0.3	△0.3
建設事業	59.6	7.5	62.0	3.6	2.4	△3.9
その他	36.6	2.6	38.0	2.7	1.4	0.1
調整額	—	△0.2	—	2.5	—	2.7
連結合計	636.1	22.4	670.0	21.0	33.9	△1.4



Advancing to our 100th birthday in 2020

2019年3月期 連結業績予想

(2018年5月11日発表)

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の決算発表時に見直しを行う予定です。

2019年3月期 業績予想(総括)

(億円)	2018/3	2019/3 予想	増減額	増減率
売上高	1,412.3	1,440.0	27.7	2.0%
営業利益	63.9	50.0	△13.9	△21.8%
(持分法投資利益)	(22.4)	(25.0)	(2.6)	
経常利益	92.0	77.0	△15.0	△16.3%
親会社株主当期純利益	63.8	56.0	△7.8	△12.2%
為替レート(円/ドル)	110.4	105.0	△5.4	
為替レート(円/ユーロ)	129.3	130.0	0.7	

・原燃料価格が上昇、研究開発費が高い水準で推移

・為替感応度(単体・営業利益)

ドル：0.5億円/円 ユーロ：0.5億円/円

・営業利益差の内訳

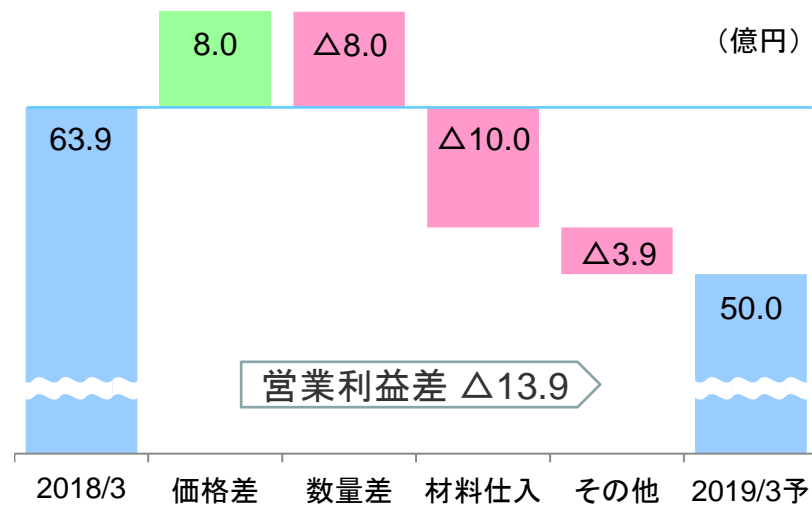
価格差 8.0 (うちレート差 △8.0)

数量差 △8.0

材料・仕入価格差 △10.0 (うちレート差 5.0)

(億円)	2018/3	2019/3予	増減
設備投資額	85.9	99.0	13.1
減価償却費	65.3	68.0	2.7
研究開発費	72.5	70.0	△2.5

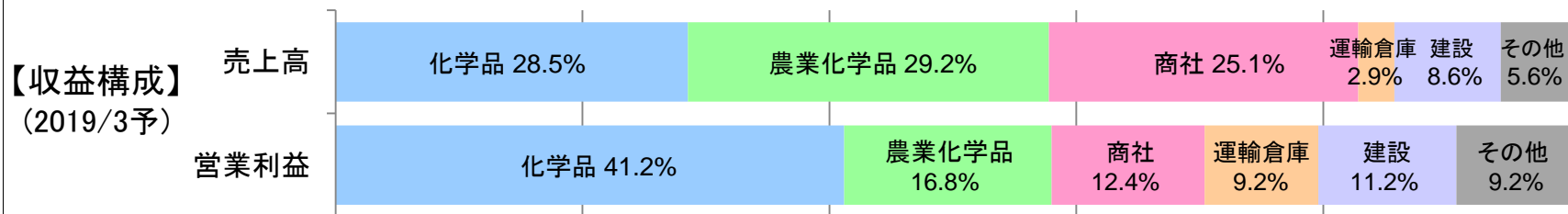
【営業利益 前期比較】



2019年3月期 業績予想(セグメント別業績)

(億円)	2018/3		2019/3 予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品事業	395.0	16.3	411.0	20.6	16.0	4.3
農業化学品事業	432.2	19.8	421.0	8.4	△11.2	△11.4
商社事業	349.4	6.6	361.0	6.2	11.6	△0.4
運輸倉庫事業	40.6	4.4	42.0	4.6	1.4	0.2
建設事業	116.9	14.0	124.0	5.6	7.1	△8.4
その他	78.3	4.7	81.0	2.1	2.7	△2.6
調整額	—	△1.9	—	2.5	—	4.4
連結合計	1,412.3	63.9	1,440.0	50.0	27.7	△13.9

- ・化学品事業：工業薬品の価格改定、二次電池材料の販売開始、セルロース誘導体・機能性高分子の拡販、原燃料価格の上昇を見込む
- ・農業化学品事業：為替影響、海外市場における既存製品の競争激化を見込む
新規農薬の開発に伴う研究開発費が引き続き高い水準で推移
- ・建設事業：グループ内取引条件の見直し、長期工事の受注による当期完工の減少を見込む



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。